

No.	009	—	1001	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業					公的関与	5		
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度	～	期間認定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	より多くの高齢者に、はり、きゅう及びマッサージ施術費を助成し、疾病の予防及び健康の維持を図ります。				根拠法令等	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例						
	事業の手段	多くの高齢者にご利用いただくことを目標に、広報紙やホームページで制度の周知を図り、昨年度よりも実績増を目指します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		利用延べ件数		115件/月×12月=1,380件/年。令和2年度以降は過去の実績を踏まえ計算しています。		件	目標 1,440	1,380	1,380	1,400			
							実績 1,368	1,196					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	施術費助成請求書を受理し、審査、確認の上助成金を支給します。			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	扶助			費			
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	213 千円	186 千円	0 千円								
		一般財源	1,155 千円	1,010 千円	1,365 千円								
	計(A)	1,368 千円	1,196 千円	1,365 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	624 千円	0.100 人	625 千円	0.100 人	620 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,992 千円	1,821 千円	1,985 千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	介護予防及び高齢者福祉の観点から、施術費の助成は必要です。												
有効性	当市で類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続利用している方も多いため、高齢者福祉の推進に寄与しています。												
達成度	サービス利用が継続的に行われており、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	健康年齢の伸長により、介護保険費などの抑制に繋がるため、効率的に執行できています。												
当面の課題	依然として利用者数が少ないことから、市民への制度周知を図り、高齢者の健康保持・増進や介護予防の充実等による高齢者の健康年齢の伸長を推進する必要があります。												
改 革 計 画	定期的な広報誌への掲載を行うことで市民サービスの情報公開等周知徹底を図ります。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	はりきゅう等の施術は高齢者の健康維持や介護予防の一環につながることから、積極的に本事業を利用し、市民自らが健康維持に努めていただきたいと思います。それを踏まえ、本事業を多くの高齢者の方に知っていただくことが重要であると考え、より多くの方が認知するよう心掛けています。												

No.	009	—	1002	事務事業名	緊急通報体制整備事業					公的関与	5		
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度	～	期間認定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	事業を必要とする方全員に制度を利用いただき、緊急時の連絡体制の確保及び孤独死の防止を図ります。				根拠法令等	東温市緊急通報装置設置要綱						
	事業の手段	緊急時の連絡体制を構築することで、高齢者の安全・安心な生活の確保と高齢者福祉の増進を図ります。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		利用者延べ件数		125件/月×12月=1,500件		件	目標	1,500	1,500	1,500	1,500		
							実績	1,408	1,318				
							目標						
							実績						
					目標								
					実績								
DO	活動内容	①	通常の電話で緊急事態の連絡をとることが困難な方に緊急通報装置を貸与し、安全を確保します。			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	委託			費			
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		187 千円	181 千円	115 千円							
		一般財源		3,332 千円	3,151 千円	3,187 千円							
	計(A)		3,519 千円	3,332 千円	3,302 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	624 千円	0.100 人	625 千円	0.100 人	620 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,143 千円		3,957 千円		3,922 千円							
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	独居高齢者等に機器を貸与し、緊急時の連絡手段の確保を行うことにより、安心して生活できる環境を確保するため必要です。												
有効性	本事業を継続して利用している方が多く、安心して生活できる環境を整備することにより高齢者福祉の増進に寄与しています。												
達成度	サービスの利用が継続的に行われており、事業目標は達成できていると言えます。												
効率性	他の高齢者見守り制度との連携を図り、効率的に運用する必要があります。												
当面の課題	緊急時の連絡手段の確保が必要な独居老人の情報を収集し、緊急通報体制の構築を図ることで、安心・安全な暮らしのできる生活環境の整備を推進する必要があります。												
改 革 画	制度の周知を図り、緊急時の連絡手段の確保が必要な独居老人を適正に審査し、適切な高齢者福祉サービスを提供していきます。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	独居高齢者が安心して自宅で生活できることを目的に愛媛総合警備保障㈱に委託し、有事の際の連絡手段の確保また孤独死の防止を図ることができています。事業内容についても非常に充実し、有事の際には委託業者が即時に駆けつけ対応するなど、事業効果はとて高くなっております。												

No.	009	—	1003	事務事業名	地域包括支援センター活動支援事業				公的関与	5			
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~	期間認定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を目的に、利用者を包括的に支援する地域包括支援センターが住民に身近な受付窓口(ランチ)を設置し、地域の高齢者福祉の推進を図ります。				根拠法令等	東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱						
	事業の手段	地域包括支援センターが設置しているランチ(地域住民からの相談を受け付け、集約し、地域包括支援センターに繋ぐための窓口)を、十分に活用し、地域の高齢者福祉の推進を図ります。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		相談件数		20件/月×12か月×2事業所		件	目標	480	480	480	480		
							実績	653	662				
							目標						
							実績						
					目標								
					実績								
活動内容	①	要介護等高齢者、特定高齢者及びその家族等からの在宅介護等に関する各種相談・支援に関して総合的に応じます。			④								
	②				⑤								
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	委託		費					
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円								
	計(A)	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	624 千円	0.100 人	625 千円	0.100 人	620 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	6,000 千円		6,001 千円		5,996 千円							
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市内高齢者の相談窓口、高齢者の実態把握調査等を委託しています。また、高齢者に対して、福祉サービスの周知、申請書の提出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。												
有効性	高齢者の相談を幅広く受け付け、高齢者にとって必要なサポートや制度を紹介し、安心して暮らせる環境を提供できるため有効です。												
達成度	委託事業者の訪問面談等各種相談・支援件数にばらつきが見られたため、事業所に指導し改善しました。高齢者福祉の推進に寄与しており、事業目標は達成できていると言えます。												
効率性	サービスの申請時には、利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が推進されています。また、専門のノウハウを保持しているため、効率的な事業運営を実施することができます。												
当面の課題	在宅で介護サービスや介護予防サービスを受けられる高齢者は年々増加傾向にあり、業務量の増大に対応していく必要があります。												
改 革 計 画	本事業の人員確保及び委託料の検討を行います。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	地域包括支援センターの窓口として、旧町単位ごとに各1か所ずつ計2法人にセンターの機能を委託し、市民からの各種相談に対応したり、必要に応じて各種サービスにつなげるなど高齢者の身近な窓口として活動しております。今後は、相談に応じる中で地域の課題を把握するとともに、通いの場への紹介や各種介護予防事業への参加を進めるなど、重症化予防につながる活動も併せて実施することとしております。												

No.	009	—	1021	事務事業名	長寿祝事業				公的関与	5			
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~	期間認定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	長寿の節目を迎えた市民に対して、長年にわたる労苦をいたわるとともに長寿を慶び、高齢社会が進展していく中で、高齢者が生きがいを持って生活ができる社会環境を醸成します。				根拠法令等	東温市長寿祝金支給事業支給規則						
	事業の手段	88歳の者に30,000円を、100歳の者に50,000円を支給します。また、満100歳の方と最高長寿者には記念品を贈呈します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		支給率		支給数/支給対象者数		%	目標	100	100	100	100		
							実績	100	99				
							目標						
							実績						
					目標								
					実績								
活動内容	①	満88歳、100歳に申請書を送付し、祝金を支給する。			④								
	②				⑤								
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	扶助		費					
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	6,664 千円	8,309 千円	7,572 千円								
	計(A)	6,664 千円	8,309 千円	7,572 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	624 千円	0.100 人	625 千円	0.100 人	620 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		7,288 千円	8,934 千円	8,192 千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	祝金支給要件確認の問い合わせは定期的であり、高齢者の生きがいとなっているため必要です。												
有効性	祝金及び記念品は高齢者の生きがいとなっており、当市に継続して居住する理由の一つに該当しているため有効です。												
達成度	祝金該当者への支給率は、連絡、訪問しても申請を拒否される方を除いて100%となっており、十分達成していると言えます。												
効率性	祝金の額は他自治体と比較しても高額であり、金額の見直しが必要な時期になっています。												
当面の課題	祝金支給総額は微増傾向にあり、財政面を圧迫している状況です。												
改革計画	他市町比較しても高額であるため、金額の見直しを検討します。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	縮小
二次評価での指摘事項	本事業については、県内他市町と比較しても高額となっているため、支給額の見直しが必要な時期であると考えます。しかしながら、本事業については、財政的な面だけではなく、政策的な要素が非常に高いため、出来るだけ早く方針を決定する必要があります。												